

## 山行報告書

山行管理部

有志山行 槍ヶ岳・奥穂高岳・涸沢岳 9月12～9月16日 L堀野 1名

9/12 あかんだな駐車場→上高地バスターミナル→ウェストン碑→河童橋→自然探勝路→

穂高神社奥宮→明神橋→徳沢→横尾→一の俣→槍沢ロッヂ(泊)

9/13 槍沢ロッヂ→大曲→天狗原分岐→坊主の岩小屋→槍ヶ岳山荘(泊)

9/14 槍ヶ岳山荘→槍ヶ岳→東鎌尾根・ヒュッテ大槍→大曲→横尾山荘(泊)

9/15 横尾山荘→本谷橋→涸沢ヒュッテ→ザイテングラート→奥穂高岳→穂高岳山荘(泊)

9/16 穂高岳山荘→涸沢小屋→本谷橋→横尾→徳沢→明神分岐→

上高地バスターミナル→あかんだな駐車場

### 1日目

上高地のシンボル河童橋から穂高連峰が迎えてくれました。右岸の岳沢湿地の木道を進み神降地(かみこうちの由来となった)明神池の穂高神社に山の安全を祈り、徳沢・横尾を経て槍沢ロッヂ(泊)入浴で疲れを取る。

### 2日目

いよいよ40数年ぶりの槍ヶ岳へ大曲からの急勾配の登山道を延々と進み天狗原分岐に辿り着くと標高は2500mそろそろ槍の穂先が見えてくるのだが残念ながら雲で覆われ見る事が出来ずガレ場のジグザク道で休憩を取ながらやっとの思いで山荘に到着。この日は残念ながら槍ヶ岳は顔を見せてくれませんでした。午後からは山荘で明日に備えての休息。

### 3日目

夜明前の槍と朝日に輝く笠ヶ岳を撮影後、いよいよ槍の頂へ天気も良く展望は360度北アルプスの峰々や鹿島槍ヶ岳・白馬岳・去年登った鷲羽岳・三ッ俣蓮華岳・双六岳の稜線がくっきり大迫力の景色に感動です。(7～9時頂は、人が少ないので狙い目です)下りは東鎌尾根コースのヒュッテ大槍を経由して大曲へ振り返るとずっと槍が見送ってくれました。この日は横尾山荘(お勧めの綺麗なペンション風山小屋)で湯につかり明日から奥穂高岳へ

### 4日目

横尾大橋を渡り屏風岩を左に見ながら本谷橋で一休み、勾配のきつい樹林帯を登りながら涸沢ヒュッテに到着。テラスからは素晴らしい奥穂高岳・涸沢岳・涸沢槍・北穂高岳のパノラマが出迎えてくれました。望遠で見ると穂高岳山荘も確認。10時涸沢ヒュッテを後に奥穂高岳へ、樹林帯を抜け岩の急斜面ザイテングラードから振り返るとヒュッテがあんなに小さく、いよいよラストスパーク立ち休みをしながらやっとの思いで穂高岳山荘へ、荷を置いて北アルプスの最高峰奥穂高岳の頂へ西

穂高岳・前穂高岳・北穂高岳・涸沢岳の山々が手に取る様にこの日は穂高岳山荘で  
(泊)

5日目

いよいよ最終日、日の出とともに涸沢岳へアタック、北は一昨日登った槍ヶ岳立山  
連峰・北穂高岳・南は前穂高岳・奥穂高岳・西穂高岳の絶景をカメラに納め、遅め  
の朝食を摂り、7時半穂高山荘を後に一路バスターミナルへ今回の北アルプスの山  
旅は天空の尾根を歩き・岩登りの苦しさ・楽しみを感じさせてくれました。幾つに  
なっても北アルプスは憧れの山です。良い天気と、時のゆとりに恵まれ、山の神様  
(穂高神社奥宮)に感謝・感謝です。蟻一歩一歩一歩の槍ヶ岳

(堀野 記)

**有志山行 立山、薬師岳縦走 9月18～9月23日** L宮田 参加4名

9/18(金) JR大阪18:12発 = JR富山21:29着(泊)

9/19(土) 富山5:29発 = 室堂7:50着 → 別山12:30 →  
内蔵助山荘14:15(泊)

9/20(日) 内蔵助山荘5:30 → 真砂岳 → 富士ノ折立 → 大汝山 →  
雄山8:00 浄土山10:20 → 龍王山 → 五色ヶ原山荘15:30

9/21(月) 五色ヶ原山荘6:00 → 鳶山 → スゴノ頭12:00 →  
スゴ乗越小屋14:30

9/22(火) スゴ乗越小屋6:00 → 北薬師岳9:55 → 薬師岳11:45 →  
太郎平小屋14:30

9/23(水) 太郎平小屋6:00 → 折立9:50 = JR富山15:15 →  
JR大阪18:36着

五日間ともお天気に恵まれ、今年は早いのか紅葉も楽しめました。

登山情報

- ① シルバーウイークでもあり立山の宿泊は予約制で、どこも満員だったが内蔵助山荘はリニューアル間もない良い小屋でした。
- ② 五色ヶ原山荘はお風呂が有ると楽しみにしていましたが、8月迄でした。
- ③ スゴ乗越小屋の建物は古いですが、料理もおいしくスタッフも親切な風情のある小屋です。

富山の下山後のお風呂は、富山地方鉄道不二越駅となりの[満天の湯]がおすすめです。  
(新熊 記)

**有志山行 東赤石山 9月19日 L木村(佐) 参加2名**

筏津登山口 7:15 — 赤石山荘 10:50 — 石室越 11:25 — 八巻山 12:30 —  
東赤石山 13:10 — 瀬場谷出合 15:25 — 筏津登山口 16:20

以前、別子銅山の東平(とうなる)地区を観光で訪れた時、赤石山の登山口があると聞き、いつかは行ってみたいと思っていた。そこは西赤石山の登山口で、今回はクラブの春山で行かれた東赤石山の登山を計画、クラブの報告書を見たり、ブログを見たりしてコースを決める。

全所要時間9時間と、最近にしては珍しく時間を要した。石室越からは道標にも書いてあったが、本当に悪路だった。八巻山は岩場で、道がわかりにくいので厳しかった。東赤石山は、わりと登りやすかった。(木村(佐) 記)

**例会山行 箕裏ヶ岳 9月27日 L願野 参加60名(うち一般5名)**

京橋 8:07→9:30 岩倉 9:55…繁見坂…箕裏ヶ岳分岐 11:05…11:40 箕裏ヶ岳 12:35  
…墓地 13:25…静原…薬王坂 14:30…鞍馬 14:50 (解散)

このコースは登山口までのアプローチが1時間と少し長い。だが、川沿いを通りまた、道路の車の量は少ない。例会部長の指示があり、今回は3班に分けた。トランシーバを持って行ったが1台の調子が悪く1班と3班のリーダーのみが持つ事に。が途中1か所だけ、もう1台のトランシーバーが使えていたらと思う個所があった。叡山電鉄は団体での乗車にしたのだが、参加者全員に連絡出来なくバタバタしてしまった。全体的に展望に恵まれたコースではないが適度なアップダウンの個所もあり、無難に下山できて担当者としては、ホッとした山行でした。

(願野 記)

**サロン 京都嵯峨野ぶらり散策 10月3日(土) L森下 参加者6名**

阪急梅田 9.20—桂乗り換え—嵐山 10.15 ぶらり散策 ~嵐山 16.00 解散  
天竜寺~野宮神社~大河内山荘~個人の趣味の植物園観賞~常寂光寺~落柿舎~  
静涼寺~大覚寺~オルゴール博物館~嵐山駅解散。

好天の嵯峨野は外国のお客さんやら若い観光客で大賑わい、観光コースをしぼらく歩き喧騒が無くなった和歌の碑公園でランチタイム、愉快なおじさんのフラワーガーデンを拝見、原種の花などの説明やら面白いお話が楽しかった。清涼寺の荘厳な楼門、本堂に感動しながら大覚寺を目指す。天皇の離宮らしく厳格さの中に雅な雰囲気を感じることが出来た、また襖絵には狩野永徳の七賢人、鳥獣画を觀賞出来たことも良かった。大沢の池の周りの景色を眺めながらの一周、しても嵯峨野の素晴らしさに感動した1日でした。(宇野 記)

**自然保護 野鳥観察(鴨川～京都御苑) 10月3日(土) L 井 参加者7名**

京阪京橋駅 8:00—京阪神宮丸太町駅—9:20 鴨川河川敷(丸太町橋南東側)—京都御苑(堺町御門)—九條池—バードバス—中山邸跡—近衛池—バードバス—富広路休憩所(鳥合わせ後解散)12:40

早朝は雨で開催を危ぶみましたが、集合時には雨も上がり、半日、曇天の中、探鳥会を行えました。鴨川河川敷の水辺の鳥は、種数が少な目でした。京都御苑・バードバスでは文字通り、シジュウカラの水浴びを楽しめました。また、ここで、南への渡り途中のキビタキ♀も顔を出してくれました。

〈見聞きした鳥〉

アオサギ・マガモ・カルガモ・コサギ・ドバト・セグロセキレイ・スズメ・トビ・シジュウカラ・キビタキ・ヤマガラ・コゲラ・モズ・ハシボソガラス・キジバト・ヒヨドリ。

以上16種類。(最後の3種類は鳥合わせ時に、鳥名を出し漏らしてました。すいませんでした) (井 記)

**土曜山行 高妻山と黒姫山 10月10日～12日 L 乾 参加21名**

10/10(土) 森ノ宮 7:00 → 戸隠高原駐車場 14:50 … 鏡池 15:15 …

戸隠神社奥社 16:00 … 奥社駐車場 16:40 → 戸隠白樺荘(泊)

10/11(日) 戸隠キャンプ場 5:30 … 一不動避難小屋 7:40 … 五地藏山 8:50

… 高妻山 11:10～11:30 … 五地藏山 13:25 …

弥勒尾根經由戸隠キャンプ場 15:50 → 戸隠白樺荘(泊)

10/12(月) 大橋登山口 5:35 … 古池 5:55 … 新道分岐 7:15 …

峰ノ大池分岐 9:30 … 黒姫山 9:45～10:10 … 黒姫乗越 11:15 …

姫見台 12:25 … 黒姫高原駐車場 13:50 → 森ノ宮 22:00

高妻山は雨の出発だったが早くにあがった。しかし一面の霧で視界がなく道沿いのドウダンつつじの紅葉だけが心の支えに。後半の岩場は上りも下りも大変だった。下山中霧が晴れきれいな紅葉が見れて歓声があがった。弥勒尾根は根っこで滑って尻もちを何回もつきながら何とか長い道のりを歩きとおした。

黒姫山は朝日でキラキラの黄色の紅葉がきれいな登りを歩く。いつの間にかササだらけで視界がなくなるがしらたま平で富士山、白馬の雪渓、アルプスの山々など一望できしばし見入る。尾根歩きはずっと景色見えて気持ちがいい。浮き上がった根っこのすきまにすきまに足を入れながらの下山、後半は紅葉の中の道を下る。晴れて周りの山々と紅葉が見れて最高の山歩きでした。風邪(せき)で皆様に迷惑をかけてしまいすいませんでした。次回は万全な状態で参加したいと思います。

(古澤 記)